

だい かい
第3回

ふじさわ し がいこくじんしみん かいぎ ていげん
藤沢市 外国人市民会議 提言

(はじめに)

1. この提言は「やさしい日本語版」と普通の「日本語版」、2つ あります。

「やさしい日本語版」は たくさんの 人が 読むことが できるように 作り
ました。

2. 提言の対象者は、藤沢市に 住んでいる、 仕事をしている、 学校に
通っている 外国につながるのある市民です。

3. 第3回の提言は、情報が 外国につながるのある市民に うまく届かない

課題から 始まりました。第1回と 2回の提言も同じですが、それくらい

大切な ことです。今回は 市が 発行している 情報を 調べて、より

具体的な 改善を 求めました。

4. 第2回 (2019年度) の 提言を 出した後、「提言の フィードバック 活

動」を 新しい 活動として 入れました。それまでは「提言 活動」と「ア

クション 活動」だけでした。提言の 実現に 向けての 委員の 参加型 活

動です。その はじめとして、2020年度から 「ふじさわ 多文化マップ」の

作成に 取り組んできました。(添付「ふじさわ多文化マップ2022」)

【やさしい日本語版】

I. 全体説明

外国^{がいこく}につながるのある市民^{しみん}向けの^む 情報^{じょうほう}が うまく 届^{とど}かないことが あ
ります。 藤沢市^{ふじさわ}外国人^{がいこくじん}市民^{しみん}会議^{かいぎ} (以下^{いか}: 外国人^{がいこくじん}市民^{しみん}会議^{かいぎ}) では、外国^{がいこく}につな
ぎのある市民^{しみん}が よく 利用^{りよう}する 情報^{じょうほう}媒体^{ばいたい} (ツール^{つーる}) を 調べ^{しら}ました。
市^しが 出^だしている 情報^{じょうほう}媒体^{ばいたい}は 大き^{おお}く 次の^{つぎ} 二^{ふた}つに 分^わかれます。 一方^{いっぽう}、
市^しからの 発信^{はっしん}ではないが SNS などを 通^{とお}して 情報^{じょうほう}を 知^しっている人^{ひと}が
多^{おお}いことも わかりました。

そして、情報^{じょうほう}が うまく 伝^{つた}わるためには 二^{ふた}つの 観^{かん}点^{てん}が 必要^{ひつよう}と 考^{かんが}え
て、話^{はな}し合^あいました。

【よく 利用^{りよう}する 情報^{じょうほう}媒体^{ばいたい}】

- (1) 紙^{かみ}媒体^{ばいたい}: 「ふじさわ 生活^{せいかつ}ガイド^{が い ど}」、「広^{こう}報^{ほう} ふじさわ」 「日本^{にほん}語^ご教室^{きょうしつ}マッ^まッ^っ」
- (2) ICT^{ばいたい}媒体^{ばいたい}: 「市^しの ホーム^{ほーむ}ペー^{ぺー}ジ^じ」 「ふじさわ メール^{めーる}マガ^{まが}ジ^{じん}ン」

【話^{はな}し合^あった 観^{かん}点^{てん}】

- (1) 作^{つく}り方^{かた}の 工^く夫^{ふう}
 - ・ のせる 順^{じゅん}番^{ばん}と やさしい日本^{にほん}語^ごの活^{かつ}用^{よう}
- (2) 届^{とど}け方^{かた}の 工^く夫^{ふう}
 - ・ 時^じ代^{だい}に あう 情報^{じょうほう}媒体^{ばいたい}の 活^{かつ}用^{よう}

【やさしい日本語版】

II. 提言 内容

市が出す情報の作り方と届け方を工夫してください。

【作り方と届け方の工夫】

1. 紙媒体 <紙に書いてあるもの>

(1) 作り方の工夫

①改善を 求めるものについて

■のせる 順番

・情報を のせる 順番は 緊急なものを先に すること。

(危ない 時に 行ける 病院や 逃げる 場所など)

■やさしい 日本語の 活用

・外国に つながりのある 市民の意見を 聞いて、簡単な 言葉を 使うこと。

・同じ内容を あらわす 言葉は 同じに すること。

・内容と 文字数を 少なくすること。

②新しく 作って ほしいものについて

・現在は、日本語版だけ あり、市の 情報誌を やさしい 日本語でも 作ること。

・緊急、そして 重要な イベント情報だけ のせたもの(簡易版)を 作ること。それは、多言語版も ほしいです。やさしい英語で 書いたもの から 作っても 良いです。また、日本語版に 二次元バーコード(携帯電話等の カメラで 読み込むと、ホームページなどに 接続できる) を のせて、多言語版が あることを 知らせてくださ

【やさしい日本語版】

い。

2. ICT媒体《市のホームページや SNS など》

①改善を 求めるものについて

■ 検索しやすい工夫

- ・ 知りたい 情報を 探するための 日本語 (日本の 文字) の言葉がわからないです。 日本語を ローマ字でも 検索できるように すること。

(例え: 「日本語教室」を ローマ字で「Nihongo Kyoushitsu」と、本文に 書いてあったり、URLに 入れてあると 検索できる)

■ 読みやすくする工夫

- ・ 説明を 大きく、短く書くこと。
- ・ リンク先が PDF だと 翻訳アプリで 翻訳できない ことがあります。大事な ことは 本文に 書くこと。
- ・ スライドバナー (自動で 画像や 記事が 切り替わる こと) は 読むのに時間が かかる人には、 読みにくいです。大事な ことは 目立つところに、 固定して、 のせること。

(2) 届け方の 工夫

①新しく 作って ほしいものについて

■ 【生活オリエンテーションの 映像版】

- ・ 日本語や 市のことが よく わからない人向けに、 情報の 映像版をつくること。
- ・ 内容は、引っ越してからの 手続きなどがあります。
- ・ 暮らしに 役立つ 場所も まとめること。

【やさしい日本語版】

(市民センター、日本語教室、病院、駅など)

・生活ルールも 紹介してください。

(自治会、ごみ、騒音、駐輪など)

Ⅲ. 実現に向けての 目安

提言を 実現する ために、改善の期間を 次のように 要望します。

1. 短期的な 提言：1～3年

・紙媒体に ついて 改善や 新しく 作ってほしいと 求めた もの

・ICT媒体に ついて 改善を 求めた もの

2. 中期的な 提言：5年

・ICT媒体に ついて 新しく 作ってほしいと 求めた もの

：「生活オリエンテーションの 映像版」

Ⅳ. そのほか

【フィードバック活動について】

■経緯

・第2回の 提言では、「外国人コミュニティ 地図を作る」ことを 求め

ていました。外国に つながりの ある市民に 必要な 情報が 地図

の 上に あると わかりやすいからです。

・外国人市民会議では、これは 外国に つながりのある市民の 力なしで

【やさしい日本語版】 にほんごばん

は 実現が 難しいという 意見が ありました。それで 外国人市民
会議と 市が 一緒に 取り組むことにしました。

- ・外国人市民会議の委員が 自分と つながりのある コミュニティを 集
めました。市の 情報と あわせて 地図を つくって、名前を「ふじさわ
多文化マップ」に しました。

- ・紙版と ホームページ版 (HP版) が あります。

- ・外国に つながりのある市民が 多く集まる 場所等に 直接 配ること
を 計画しています。

- ・これからも 内容を 改善して 行きます。